

東松島の子どもたちに笑顔を！

未来へつなげる夢のある取り組み。

●復興の中で出会った希望の地球儀

東松島市鳴瀬庁舎の裏手に位置する「ディスカバリーセンター」は、日本では唯一、NOAA(アメリカ海洋大気庁)が開発したデータ投影型科学地球儀Science On a Sphere(通称:SOS)が展示されている施設。ライトダウンされた室内の中空でぽっかりと浮かぶ立体の地球儀に、NASA(米国航空宇宙局)や研究機関からNOAAに集められた海や天体、気象情報などのコンテンツが映し出されている。SOSとの出会いは、センターを運営する(株)橋本道路が、東松島市での微生物を使った震災がれきの処理方法が評価を受けて招待された国際会議の開催地・デンマーク。「SOS展示を見学して出てきた子どもたちの喜ぶ笑顔を見て、被災地の子どもたちにも笑顔を取り戻し、未来に向かって欲しいと、父である社長が東松島での展示を即決したんです」と千葉さん。

●興味を広げる第一歩の場所に

SOSの展示がスタートしてから今年で4年。東松島市内の幼稚園や小・中学校はもちろん、日本唯一の展示とあって県内外からさまざまな人たちが見学に訪れている。「私たちが住む美しい地球の姿はもちろん、地震と津波のエネルギー波及や地球温暖化のシミュレーションなどさまざまなデータを目で見ることができます。もっと知りたいという興味の種を見つけて、SOSを見た子どもたちの中から学者や研究者が生まれたりしたら素敵なことですよ」。



見学可能日は火～土曜の10:00～16:00。
見学は5名以上で完全予約制



file no. 3

千葉真由美さん

地域に根付く「地元のプロ」にインタビュー。
3回目は東松島のディスカバリーセンターでセンター長を務める千葉さんです。

分かりやすく、
楽しんでもらえるような
案内を心がけています！

日々進化するSOSは
年がかりのよう
かわいい子どもたちが
あなたの知りたいことが
見つかるかも！

